株主通信

第33期第2四半期
2013.4.1→2013.9.30

SEC

証券コード：3423

株主の皆様へ

平素は格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や金融緩和への期待感から、企業収益が改善するなど景気回復に向けた明るい兆しが見え始めました。一方、所得環境改善の遅れや原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界での公共投資減少による市場規模の縮小等の問題に対処すべく、中・長期的な安定収益の確保と経営基盤の強化として、「補修・補強市場」への積極的な事業展開、海外（ベトナム）建設市場での新たな公共事業の枠組みであるPPPを用いた事業展開、超高引張強度コンクリート「ESCON（エスコン）」などの新製品開発などの取り組みを行いました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は81億12百万円（前年同期比10.5％増）、利益面では、活況な受注・工事量に支えられ、工場製品の売上が増加したことによる利益の増加があり、営業利益３億59百万円（前年同期比136.5％増）、経常利益３億77百万円（前年同期比166.7％増）、四半期純利益２億３百万円（前年同期比240.0％増）となり大幅な増収増益となりました。

当社は、これからも人々の生命と財産を守るため、グループ一丸となって社会へ貢献してまいります。今後とも、変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長

森元峯夫

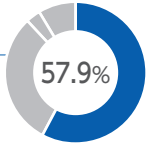
事業の状況

エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。

建設用資機材の製造・販売事業

㈱エスイー

売上高構成比



売 上 高　**47億円**　（前年同期比 9.8%増）

• 環境防災分野

一昨年に紀伊半島で発生した台風12号災害に伴う復旧工事での製品納入があったことや政権交代に伴う景気浮揚策の追い風もあり、特に法面、港湾、砂防堰堤などで土砂災害防止や護岸の補強等に使用される「アンカー」の販売が順調に推移しました。また、職人不足による影響もあり、現場で施工しやすい工場製品「KIT受圧板」の売上高が増加しました。

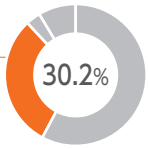
• 橋梁構造分野

前年同期は個別大型物件としての「斜材ケーブル（FUT-H型）」の納入がありましたが、当第2四半期累計期間においては同規模の物件がなく、前年同期に比べ売上高が減少しました。

建築用資材の製造・販売事業

連結子会社：エスイーA＆K㈱

売上高構成比



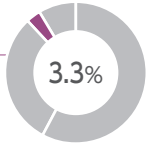
売 上 高　**24億48百万円**　（前年同期比 4.0%増）

東北・首都圏市場とも職人不足が解消されず工期遅延が生じている一方、建築工事量は増加傾向であり、主に首都圏市場において資材販売が順調に推移しました。また、製造コストの面では、円安と原材料価格上昇による圧力のなか、抑制および低減の努力をしました。この結果、この事業では増収増益となりました。

建設コンサルタント事業

連結子会社：㈱アンジェロセック

売上高構成比



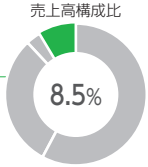
売 上 高　**2億71百万円**　（前年同期比 2.1%減）

引き続き、施工管理業務である「コンゴ民主共和国キンシャサ市ポワ・ルー通り改修4車線化SV」や、現地調査業務である「東ティモール国全国国道網の脆弱性に係る情報収集・確認調査」など継続受注物件の消化ならびに新規事業物件の獲得に注力いたしました。

補修・補強工事業

連結子会社：エスイーリペア㈱

売上高構成比



売 上 高　**6億92百万円**　（前年同期比 62.2%増）

政権交代に伴う「国土強靭化」や社会インフラ老朽化対策の推進を背景に、建設需要全体の増加による資材・人件費の高騰等への対応を図りながら、事業エリアの拡大策として近畿圏への進出を積極的に展開しています。

※売上高および売上高構成比は端数処理をしております。

第2四半期連結財務諸表

要約連結貸借対照表（単位：百万円）

科　目	当第２四半期末 2013.9.30現在	前期末 2013.3.31現在
資産の部		
流動資産	12,293	14,227
現金及び預金	4,232	4,714
受取手形及び売掛金	6,030	7,682
商品及び製品	273	285
仕掛品	366	270
原材料及び貯蔵品	1,046	962
その他	406	382
貸倒引当金	△63	△70
固定資産	5,541	5,522
有形固定資産	3,721	3,767
無形固定資産	347	380
投資その他の資産	1,471	1,373
資産合計	17,834	19,750

科　目	当第２四半期末 2013.9.30現在	前期末 2013.3.31現在
負債の部		
流動負債	7,100	8,226
固定負債	3,676	4,503
負債合計	10,776	12,729
純資産の部		
株主資本	7,071	7,092
資本金	1,228	1,228
資本剰余金	995	995
利益剰余金	5,095	5,116
自己株式	△247	△247
その他の包括利益累計額	△17	△77
少数株主持分	4	6
純資産合計	7,057	7,021
負債純資産合計	17,834	19,750

要約連結損益計算書（単位：百万円）

科　目	当第２四半期累計 2013.4.1～9.30	［ご参考］ 前第２四半期累計 2012.4.1～9.30	前期 2012.4.1～2013.3.31
売上高	8,112	7,343	17,321
売上原価	5,835	5,466	12,521
売上総利益	2,276	1,877	4,800
販売費及び一般管理費	1,917	1,725	3,734
営業利益	359	151	1,066
営業外収益	74	48	118
営業外費用	55	58	128
経常利益	377	141	1,056
特別利益	4	－	5
特別損失	21	13	13
税金等調整前四半期（当期）純利益	360	128	1,048
法人税等	159	71	434
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	201	56	614
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2	△3	1
四半期（当期）純利益	203	59	612

要約連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

科　目	当第２四半期累計 2013.4.1～9.30	［ご参考］ 前第２四半期累計 2012.4.1～9.30	前期 2012.4.1～2013.3.31
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー	866	667	965
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△310	△91	△188
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,228	△885	△41
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	0
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△671	△308	735
Ⅵ 現金及び現金同等物期首残高	4,368	3,632	3,632
Ⅶ 現金及び現金同等物四半期（当期）末残高	3,696	3,324	4,368

（注）財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

特集　土砂災害から人々を守る「SEEEグラウンドアンカー」

近年、温暖化の影響による大型台風や大規模地震の発生、さらにそれに伴う土砂災害等の自然災害による被害が増加しています。エスイーグループでは、様々な技術や製品をご提供することで、大切な人命や財産を守り、皆様の安心で安全な生活のためにお役に立ちたいと考えています。

そこで今回は、当社の主力製品のひとつ「SEEEグラウンドアンカー」を用いた土砂災害対策の取り組みについてご紹介させていただきます。

■ SEEEグラウンドアンカーとは

グラウンドアンカーとは、高強度のケーブル状の鋼線（PC鋼材）を引張り材として使用して、地中深くの岩盤層と地表面を緊結させるシステムのことです。それにより、不安定な土塊等を安定させることができるため、地すべりや道路の斜面崩壊などの土砂災害防止対策などに用いられます。

当社の「SEEEグラウンドアンカー工法」には、3つの特色があります。第一に、頭部にナット（ねじ）を用いているため、地震時の衝撃や地盤の変動などで緊張力が変動した際に再調整が簡単で維持管理が容易にできます。第二に、引張り材であるPC鋼材がグリースとポリエチレン樹脂で完全二重防食されており、長期的な耐久性を備えています。第三に、当工法の構造上、地中に埋め込まれた部分に圧縮の力が働きます。コンクリートは引張りには弱いものの圧縮に強いため、安定した力学的特性が得られるようになっています。

■ SEEEグラウンドアンカーによる防災への取り組み

近年、我が国では大規模な地震や地球温暖化の影響による大型の台風の発生などが多発しています。伊豆大島を襲った台風26号による土砂災害は、記憶に新しいのではないでしょうか。この台風は50年に1度の大雨とも言われましたが、もともと国土の7割が山や丘である日本は、世界年間平均と比べ約2倍の降水量となっています。国がまとめた調査では、土砂災害発生の可能性があるのは全国に約52万箇所とされ、そのうち各自治体が約31万5千箇所を土砂災害警戒区域に指定しており、優先的に対策をしています。

当社のSEEEグラウンドアンカー工法は、業界の第三者機関から審査証明を得ており、土砂災害防止に対する有効性が認められており、技術的な信頼と実績から全国でトップシェアを占めています。

変化と新しい価値の創造

顧客に満足される新しい機能の創造
社会、自然環境との調和
社員の個性尊重　ー意欲と能力の発揮による各人の豊かさの実現ー
Making Changes,　Creation of New Values　for the Next Stage

エスイーグループの事業内容

建設用資機材の製造・販売事業

SEEE工法を軸として、地すべりを防止する「アンカー」や橋梁の落下を防ぐ「落橋防止装置」等の製造・販売をしています。さらに、PPPコンセッション事業の展開を行っていきます。

㈱エスイー

建築用資材の製造・販売事業

建築・土木のコンクリート型枠工事に用いるセパレーターや建物の内装工事に用いる吊ボルト等の製造・販売をしています。

連結子会社　エスイーA＆K㈱

建設コンサルタント事業

国内外で社会インフラ整備のための調査・計画・設計など、ソフトエンジニアリングの提供および、PPPコンセッションのエンジニアリング拡大を進めます。

連結子会社　㈱アンジェロセック

補修・補強工事業

橋梁やトンネル等の社会インフラのメンテナンス技術を多数有し、補修・補強工事を中心とした事業を展開しています。

連結子会社　エスイーリペア㈱

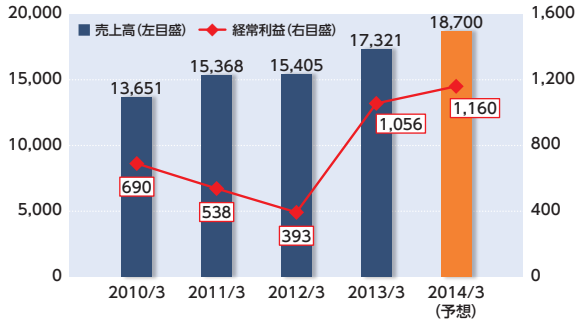
海外関連会社

フランス：アンジェロップ
ベトナム：VJEC
韓国：コリアエスイー、T.I.S.
台湾：九春工業

平成26年3月期第2四半期連結決算ハイライト

売　上　高	81億12百万円
経　常　利　益	3億77百万円
期末配当(予想)	1株当たり20円

・通期連結売上高、経常利益の推移 (単位：百万円)



決算のポイント

利益の大幅増加

政権交代に伴う公共工事の景気浮揚策の追い風もあり、活況な受注・工事量に支えられ、比較的利益率の高い工場製品の売上が増加しました。これにより、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同期比100%を超える増加率を達成しました。

防災対策・復旧工事への注力

一昨年に紀伊半島で発生した台風12号災害に伴う復旧工事や東北・首都圏における震災復興需要、建築工事量の増加などにより、主力製品の販売が順調に推移しました。

通期の連結業績における見通し

順調に推移することが見込まれますが、第3四半期以降におけるグループ各社の受注動向を慎重に見極めており、通期連結業績見通しは計画目標値を変更いたしません。

株式情報（平成25年9月30日現在）

株式の状況

1.発行可能株式総数	27,400,000株
2.発行済株式の総数	15,628,300株（うち自己株式674,218株）
3.株主数	1,763名

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　3月31日 中間配当を行う場合　9月30日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
■定時株主総会	毎年6月下旬
■単元株式数	1,000株
■株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル） （土・日・祝日を除く9：00～17：00）
お取扱店		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ証券 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。

■公告方法　電子公告（http://www.se-corp.com/ir/koukoku.html）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○ご報告：株主優待制度を活用した社会貢献団体への寄付について

平成25年3月期においては、選択式の優待品目のひとつとして、昨年同様「緑の募金」を通じた東日本大震災の被災地復興に向けた『使途限定募金』の寄付を設定いたしました。

その結果、多くの株主様の善意により**合計金額59万7千円**が集まりましたので、公益社団法人国土緑化推進機構に全額寄付させていただきます。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ホームページのご案内

詳細なIR情報や会社概要等については、当社ホームページをご覧ください。
http://www.se-corp.com

会社情報（平成25年9月30日現在）

商号	株式会社エスイー
所在地	〒163-1343 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号（新宿アイランドタワー）
創業	昭和42年８月
設立	昭和56年12月
資本金	12億2,805万円
従業員数	単体184名、連結369名
グループ事業内容	1.建設用資機材の製造・販売事業 ・環境防災分野 ・橋梁構造分野 ・PPP/コンセッション分野 2.建築用資材の製造・販売事業 3.建設コンサルタント事業 4.補修・補強工事業 5.その他（超高引張強度コンクリートの開発等）
関係会社	㈱アンジェロセック（連結） エスイーA＆K㈱（連結） エスイーリペア㈱（連結） ㈱コリアエスイー（持分法適用、韓国） T.I.S.（ティアイエス）㈱（持分法非適用、韓国） ㈲日越建設コンサルタント（VJEC）（非連結、ベトナム） 九春工業股份有限公司（台湾） アンジェロップ（フランス）

役員

■取締役・監査役

代表取締役社長 執行役員社長	森　元　峯　夫	（工学博士・技術士）
代表取締役副社長 執行役員副社長	大　津　哲　夫	
取締役 専務執行役員	岡　本　哲　也	
取締役 専務執行役員	塚　田　正　春	
取締役 常務執行役員	本　間　誠　治	
取締役 常務執行役員	今　田　顕	
取締役 執行役員	戸　澤　憲　行	
取締役 執行役員	杉　山　浩　之	
常勤監査役	鈴　木　章　二	
監査役	寺　石　雅　英	
監査役	菅　澤　喜　男	

■執行役員（取締役を兼任するものを除く）

執行役員副社長	石　﨑　浩	
執行役員	髙　橋　茂　雄	
執行役員	久　賀　泰　郎	
執行役員	中　村　賢　一	

SEC 株式会社 エスイー
http://www.se-corp.com

VEGETABLE OIL INK

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 www.fsc.org FSC® C013080

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。